KEN TIMES

2019年 12月号

KEN TIMESをご覧いただいている皆さま!2019年はいかがでしたでしょう?きっと全てのことが全部ひっくるめて大切な人生の1ページになったのではないかと思います。

やることは山積みの師走ですが、暮れのこの時期ってすごく好きです。みんなが「気持ちよく正月を過ごそう」という気持ちを持って、前向きにいる気がするからです。

皆さま、2019年ありがとうございました。2020年もどうか楽しい毎日を!!!

◆【晩秋の 文月に帰す夜 梅酒と】





河野謙、心の一句。

仕事仲間や滝沢秀悟くんの影響で、僕も梅酒作りに挑戦してみました。上の句は、暮れも近付く12月の今、出来上がった梅酒を舐めながら、7月に慌ただしく仕込んだ頃のことを思い出している状況です。『あの頃、行事ごとがいっぱいあったな~。忙しくなっちゃったけれど、今となっては結局全部楽しかったな~。あの人とこんな話してたな~。今年は遊びも仕事も充実してたな~。』なんてことを思いながら。

梅は高校の同級生の善晴の家からいただ

き、ホワイトリカーのものと、ブランデーのものと、2種類を作ってみました。写真は、漬物室の野沢菜の樽の前で寝かせている時の様子と、リヴシーのグラスで梅酒ソーダにした時のものです。味は・・・見事に梅酒の味になりました。美味しいです!おそらく、普通の梅酒なんでしょうが、あの味気のないホワイトリカーなんかが、しっかり梅の味がするものになったのだ、と自分で作ってみて実感できるので、より美味しく感じちゃうのだと思います。愛着がわきます。当分はありそうですので、飲みにきてくださいね~。

◆やっほ---!!!

これだけハッキリとしたやまびこを聞いたのは何年振りでしょうか。 アニメで見るようなやまびこです。息子を保育園まで迎えに行き、 この日は何かの帰りで車だったので、そのまま北竜湖までドライ ブに。閑散とした秋の北竜湖は、ひと味違った良さがあります。動 かぬ水面には、終わりかけの紅葉の山がくっきりと映っています。 あまりにハッキリとしたやまびこだったので、大人の僕も思わず何 度もやってしまいました。子どもに聞かせてやりたいという方、こ の時期の北竜湖はオススメですよ。それにしても息子よ・・・その 目立つ帽子とジャケットは一体どこで買ってきたんだい!?



◆ここは楽園。





で遊んだりと、ハワイの良さは言うまでもないのですが、今回の旅は行きの飛行機で読んだ「鉄道員」が最も心を動かしてくれました。「鉄道員」は映画にもなったので、それなりに長い小説なのかな〜。と思っていたのですが、浅田次郎の短編集ということが、買うときにわかりました。鉄道員はもちろん、「ラブレター」と、「角筈にて」が良かったです。Amazonにて一円で買えてしまいます。

どこかの市場へ出かけ、 店のおばちゃんに手のひら に「べちゃっ」と乗せてもらっ た物って、どうしてあんなに 旨いんですかね?(僕はホ タルイカの沖漬けを想像し ました。漬物もいいです ね。)細胞を通して、より脳 に伝わるから?写真の子ど もたちも、妻の実家の新米

を満足そうに食べております。手で。長男の葉(よう)も、 もうなんとか箸は使えるの

ですが、だいたいおにぎり にしてもらったり、お櫃を抱 えこんでそのままシャモジ で食べるスタイルだと、いつ もの倍は食べます。このあ と、床はご飯粒で大変なこ

とになっていましたが、食の

ありがたみを、改めて実感

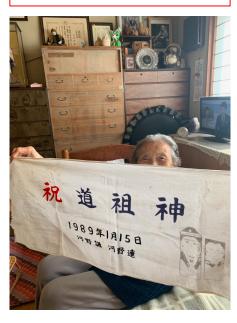
できる時間でした。







手で食べるといえば、上久君(僕が小さい頃ペンションの手伝いで来てくれていた)に連れて行ってもらった、大阪の夜のことを思い出しました。3年ぐらいまえかな。お店の名前は覚えておりませんが、カウンターに座って、お任せで大将が握ってくれるお寿司屋さんでした。寿司は当たり前に美味しく、置いてある日本酒も絶品でした。そうです、この時も大将が手のひらに寿司をポンと乗せてくれ、そのまま口に運ぶ、という形で何巻か食べました。シャリのほんのりとした温かみと、新鮮な海の恵みを貪るようにいただく喜び。贅沢な食べ方です。楽しかったな~。



いよいよフジョシより、32年ぶりに灯籠を出すことにいたしました。 写真は平成元年に、僕と弟の灯 籠の時に作ってもらった手ぬぐい です。ばあちゃんが畑に行く時に 使っています。

野沢の道祖神で灯籠を出す。こ のことの意味をしっかりと自覚し、 全力でやります。

何よりも、子どもが元気に育ちま すように。

ー10月・11月のお客さまの声ー

